

扇山南尾根

期 日：5月10日（土）

コース：鳥沢バス停9：00～梨の木平9：15～登山口9：36～合流点11：10～扇山11：50～12：40～梨の木平14：25

参加者：M・T M・S T・I Y・N F・I C・O S・I K・K K・K K・N

報 告：ツツジを楽しむ山行を計画した。梨の木平で準備運動を忘れずにと山行部長からの指示を受けていたが、しっかりしたグループが輪になって掛け声に合わせてストレッチをしていた。恐れをなし個々に柔軟をそーつとしてトイレも済ませていざ出発。



梨の木平からバス停を戻るように進む。水道施設が見えると道が二手に分かれる。右は鳥沢駅方面。左手にはつつじ群生地入口の新しい看板。梨の木平から5～6分で着く。



一見草深いように見えるが道はしっかり付いていて迷うことは無い。登山道に入った辺り。まだ下に車道が見える。今日の花目的ハイキングはどうなるか？



バスは増便が有りますと案内がある程、登山客で溢れていたが、同じバスから降りてこちらに来たグループは居なかった。歩き始めてわずか5分。木間越しに富士山が見える。



快晴のハイキング日和である。



歩き始めて9分。最初のツツジ発見。期待が膨らむ。咲いています。



先頭をお願いしたミっちゃんの歩きやすいペースにわらびの妖怪さんもしっかり付いて行く。

いきなり急登でしたが皆さんツツジ見えています？



足元もが大事ですがツツジも見てくださいね。



登山道両サイドにツツジが咲き誇る。時期的にはぴったり。良かったと胸を撫でおろす。



歩く姿にも余裕がある後方組。



ツツジ群生地。誇大広告では無かった。



アイちゃんごめんなさい。お顔が花に隠れました。



登り始めて1時間15分きつい斜面とツツジの花道は続きました。標高900m付近のツツジはまだ蕾でした。妖怪さんも元気に歩いています。凄い一言。



やっと、傾斜の緩む頃梨の木平からの登山道との合流地点近くです。

イカリソウ↓



ヒトリシズカ↓

合流地点からは足元にイカリソウ、萱、ヒトリシズカ、稚児ユリ等がそっと咲いていた。先程はツツジの艶やかさに感嘆の声をあげていたが、こちらも捨てがたい。どっちもいい。花は花。



エイザンスミレ↓

チゴユリ→





山頂迄後5分ぐらいの所で岩澤さんに異変有。ここまで順調に歩いて来たが、足が攣りだした。邦夫さん、嘉子さんからすぐにツムラの68番が差し出される。登山道脇で嘉子さん、私と3人で暫く治まるを待つ。他のメンバーを山頂に残しミっちゃんが戻って来てくれる。攣るのが収まった妖怪様はミっちゃんの腕につかまりスタスタ山頂へと急ぐ。仲睦まじい親子の姿。



見事山頂到着。晴れ晴れとした笑顔でしたが写真がボケている。すみません。



山頂からの富士山です。



お決まりの集合写真をお願いして、はい昼食です。





あれ！折角のポーズ写真がお顔が真っ黒。ごめんなさい。
昼食後、またしても妖怪様の足が・・・。



心強い味方ランナーの一夫様。テーピングを脹脛にすると良いと早速テーピングをしてくださる。アミノバイタルも出してくださる。リーダーは何も出来ずじーっと固まっている。そして写真を撮り始める。報道写真ならその行いの賛否が湧き上がる場面だ。勉強させていただきました。ありがとうございました。

攀りが収まっている間に下山した方が
良いと意見が纏まり下山開始。
蕾のセンボンヤリ



咲き始めたセンボンヤリ



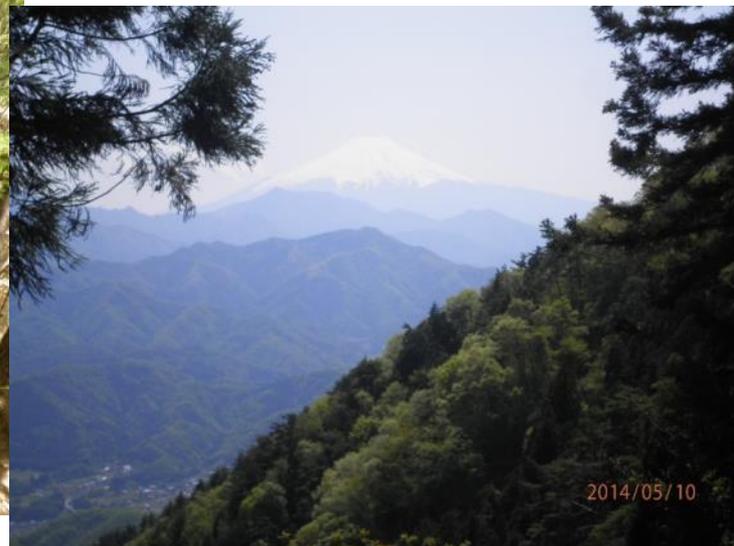


一路梨の木平を目指して下山開始。

大久保のコル迄5分。いいペースです。妖怪様の後ろには嘉子さんが控えている。嘉子さんがコルから逆走？離れて見ている私は理由がわかりませんでした。



天气に恵まれ一日富士山を仰ぎ見ての山行となりました。



妖怪婆様はなぜ妖怪爺様に来ていないと訪ねておられました。が、しかし、妖怪爺様のお名前が口から出てきませんでした。ほら、あの・・あの人…80歳のあの人。楽しい一日でした。

14：23分無事梨の木平到着。妖怪様も足が攣る事無く元気に下山なさいました。今回、わらび妖怪様が無事山頂まで行き下山された事心より嬉しくびっくりもしています。恐れ入りました。

